

事務連絡

平成27年7月10日

鹿児島県災害救助主管部局 }
衛生主管部局 } 御中

内閣府防災（被災者行政担当）
厚生労働省がん対策・健康増進課保健指導室・地域保健室

応急仮設住宅生活における真菌（カビ）及びダニ対策について（依頼）

平素からの災害予防及び災害発生時における対応にご尽力をいただき、ありがとうございます。

平成27年5月29日に発生した口永良部島新岳噴火に際しては、口永良部島から全島避難を行った避難者の応急的な住宅の確保を図るため、屋久島町において建設型仮設住宅の建設、民間住宅の借り上げ等により対応が行われているところですが、当地の気候状況（高温多湿）や台風発生時期を迎えていることを考慮すると、応急仮設住宅における真菌（カビ）やダニの発生が懸念されるところです。

真菌（カビ）及びダニは喘息の再発・悪化、アレルギーの原因になる可能性があること、真菌（カビ）等の発生は予防が可能であること、発生した真菌（カビ）等も一定程度除去可能であることから、真菌（カビ）等の対策にご留意いただきますようお願いいたします。

については、真菌（カビ）等の予防のための取扱等に係るリーフレットを添付しますので、同リーフレットを活用し、災害救助主管部局、衛生主管部局、住宅建設主管部局が連携して、真菌（カビ）等の発生の予防が重要であることについて、屋久島町及び応急仮設住宅入居者の方に広報・周知いただき、応急仮設住宅入居者の健康確保に努めていただきますようお願いいたします。

【問い合わせ先】

内閣府政策統括官（防災担当）付

参事官（被災者行政担当）付 担当：進藤

住所：〒100-8969 東京都千代田区永田町1-6-1

Tel 03-5253-2111（内）51360

fax 03-3502-6034

厚生労働省健康局がん対策・健康増進課地域保健室

担当：吉住

住所：〒100-8916 東京都千代田区霞ヶ関1-2-2

Tel 03-3595-1111（内）2394

Fax 03-3502-3099

カビ、放置してませんか？

カビ駆除の基本4カ条

- A. カビが生えた物は捨てる
または
B. 水拭きする

①カビの『除去』

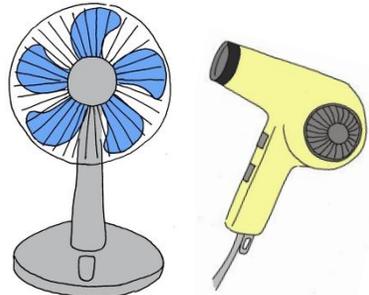
②カビが生えた場所の『乾燥』

③カビが生えた場所の『消毒』

『消毒用エタノール』や『塩化ベンザルコニウム液』『次亜塩素酸ソーダ液』が有効！薬局で買えます。
※使用方法をよく読み、注意して正しく使いましょう。
※カビや消毒薬を吸い込まないように、十分換気し、マスクをつけておこなしましょう。

④消毒した場所の『乾燥』

乾燥しないとすぐカビが復活します！



扇風機
ドライヤーが効果的！

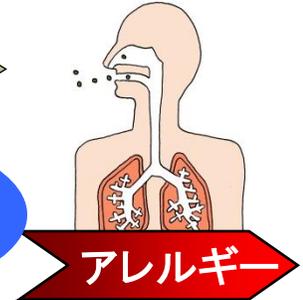
『カビ』は喘息の再発・悪化、アレルギーの原因になります！



カビ孢子



住宅室内で
大量のカビ孢子
を吸入



アレルギー

軽い症状の場合もあり、「風邪」と思って見過ごされている可能性があります！

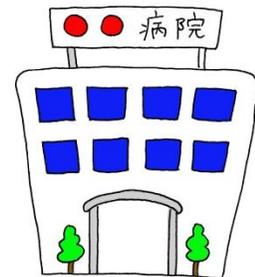
初期の症状は、咳、痰、倦怠感、息切れなど。治療開始が遅れると酸素吸入を必要とする危険な状態に進行することもある！



☆応急仮設住宅では、カビが発生しやすく、特に、長期間に及ぶ場合には、注意が必要です。

☆早期に治療を開始すること、室内のカビを減らすことが重要です！！

早期診断が重要です！
早めにお医者さんに相談しましょう。



仮設住宅でのカビ予防ポイント

除湿・掃除が肝心です！

①『湿気』・『結露』の発生をおさえる

屋外・屋内での
布団干し



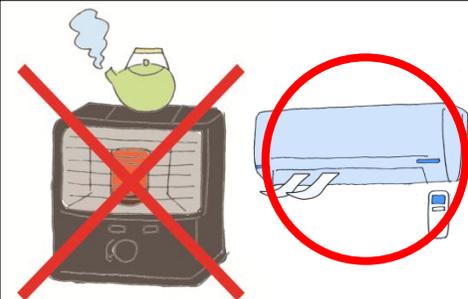
屋内ではカゴ・イス等を利用して、扇風機の風を当てる。

室内の換気

- ・晴天時は窓を開けて換気。
- ・雨天時は窓を閉め、エアコンや扇風機で室内空気を動かす。

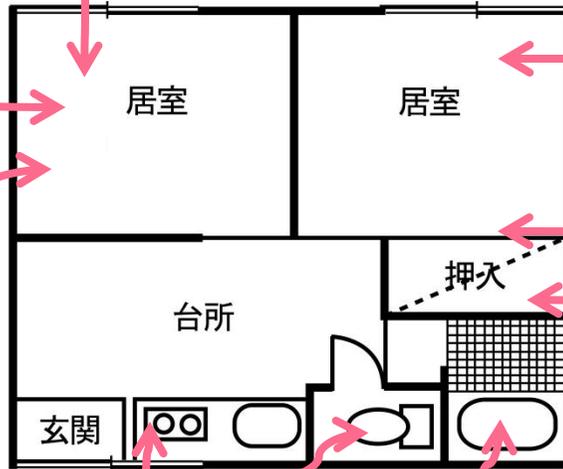


部屋干しはなるべくしない
干す場合はエアコン/扇風機/
換気扇/除湿機をつける。

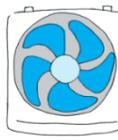


エアコン・除湿機
の活用

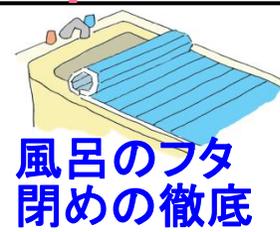
石油は燃焼時に水分が出るので石油ストーブを使用しない。エアコン使用がカビ対策には効果的。



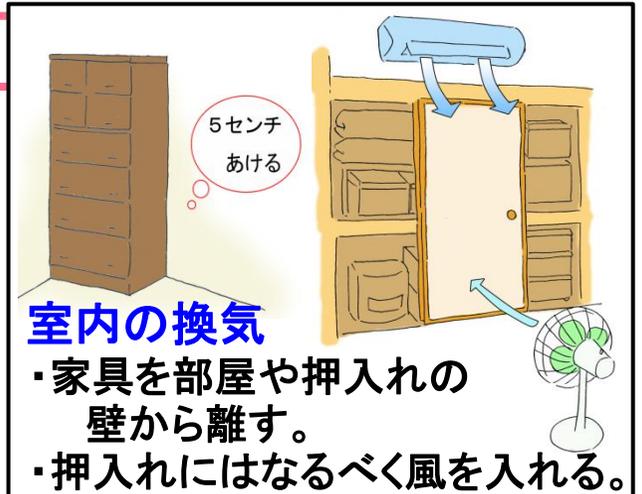
消費電力20Wの場合
常時使用で1カ月料金は約300円程度



台所・風呂・トイレ
換気扇を積極的に
使用



風呂のフタ
閉めの徹底



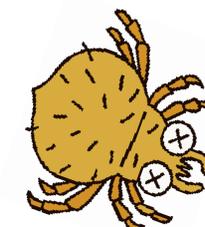
室内の換気

- ・家具を部屋や押入れの壁から離す。
- ・押入れにはなるべく風を入れる。

②『清掃』を頻繁にする

ダニアレルゲン対策

- ✓ 普通に生活していてもアレルギーの主たる原因となりうるダニは日本の温暖・湿潤な気候で増殖しやすく、多くの家がダニアレルゲンで汚染されています
- ✓ 「効果的な掃除」等の環境整備によりダニアレルゲン量を減らすことができます
- ✓ 特に「寝室」と「寝具」に対する対策が重要です
- ✓ 「除湿」は「カビ対策と共通」しており、カビをエサにするダニの増殖を抑えることができます
- ✓ 掃除の際は「窓を開けて換気」し、「マスクやタオルで口を覆い」ながら行ってください



⇒ 「アレルギー」に関する参考情報； <http://www.immune.jp/allergy/base/allergen/index.html>

＜＜寝具のダニアレルゲンを減らす方法＞＞

- 週に1回以上、家族全員の寝具カバーをはずして寝具そのものに直接掃除機をかける
- 高密度線維でできた布団・枕カバーを使用する
- ベッドメイキング時に窓を開放する
- 布製のソファを寝室に置かない
- 開放型暖房機器を寝室に置かない
- 1日に数回窓を開けて換気する
- 掃除機をかける前に床を水拭きする
- 寝室のカーテンを年2回以上丸洗いする



＜＜寝室のダニアレルゲンを減らす方法＞＞

- 室内に植物や水槽、洗濯物、加湿器を置かない
- 週に1回以上寝室を含むすべての部屋に掃除機をかける
- 掃除機をかける前に床の拭き掃除をする
- 床はフローリングである
- 床を化学雑巾やモップで乾拭きする

